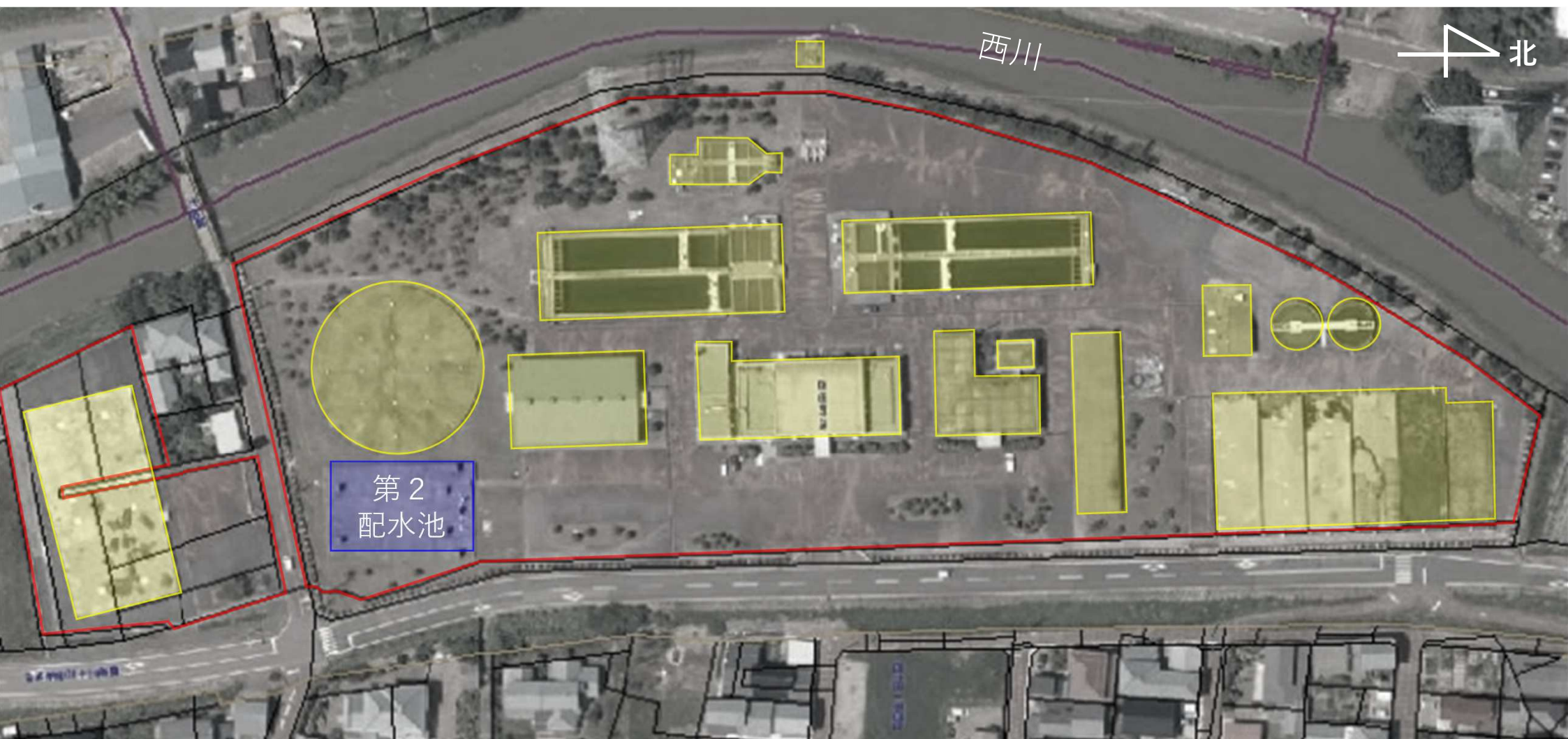


統合浄水場等整備事業に係る吉田浄水場の運用方法の変更について

令和3年度より工事を実施しております、統合浄水場等整備事業（DBO（デザインビルドオペレーション）方式）につきまして、統合浄水場の建設工事に合わせて、現・吉田浄水場内において、第2配水池（昭和61年建設）の耐震補強工事を令和5年6月頃から実施する予定です。

工事に際して、浄水場全体の運用方法（水道水の送水方法）が変更になることから、当浄水場から配水しております吉田地区の皆様へ影響が無いよう、事前準備を含めまして、細心の注意を払いながら実施して参ります。



現状の運転方法（1）

1系配水管： 市街地の大部分へ配水
(第1・第3配水池を利用)

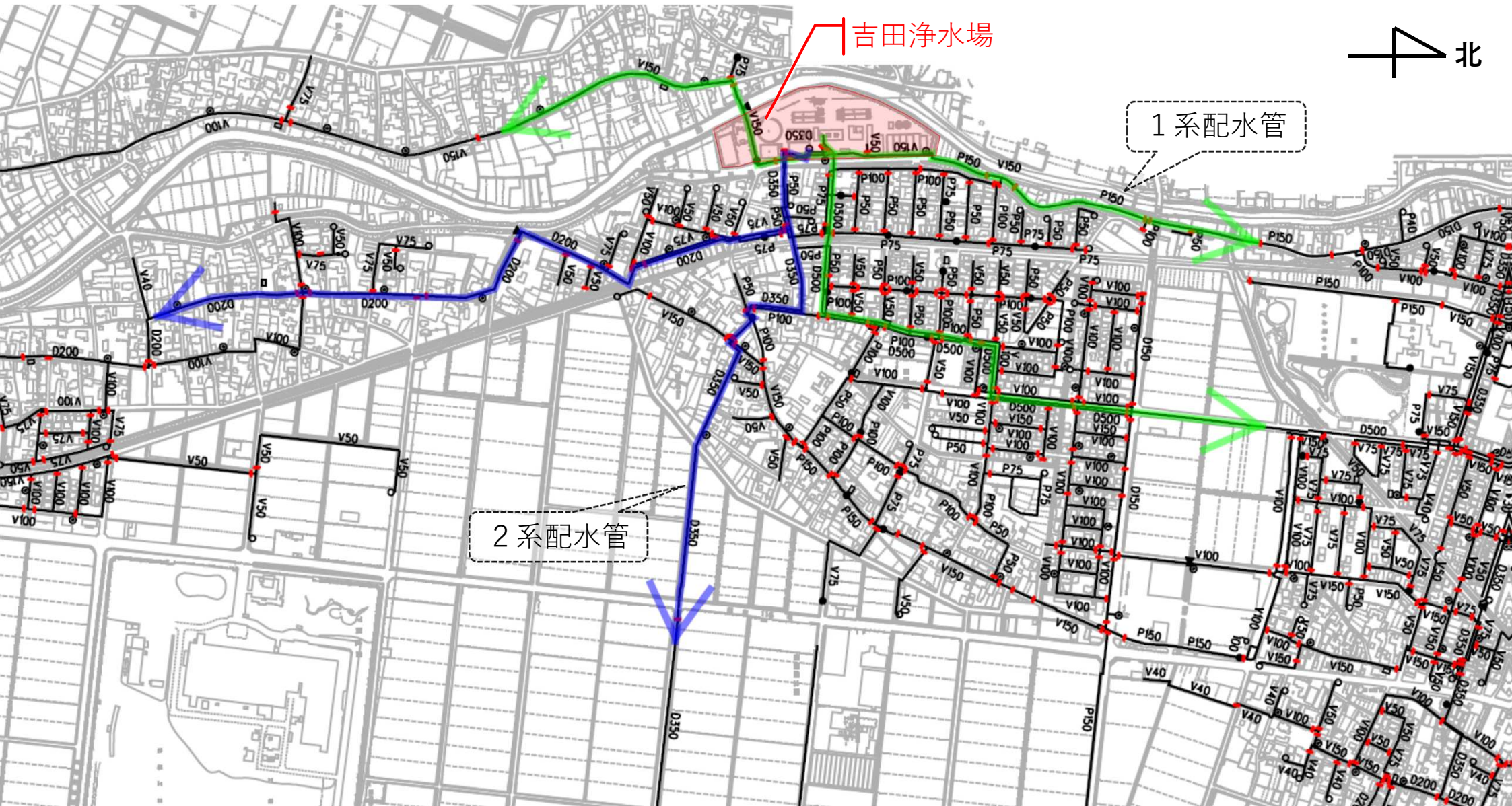
2系配水管： 吉田メタルセンター・金属センター、粟生津方面へ配水
(第2配水池を利用)



現状の運転方法（2）

■ 1系配水管： 市街地の大部分へ配水
(第1・第3配水池を利用)

■ 2系配水管： 吉田メタルセンター・金属センター、粟生津方面へ配水
(第2配水池を利用)





◆ 工事内容

第2配水池の末端である“ポンプ井”の流出側の壁面を20cm厚くして池を補強（耐震化）する工事

◆ 工事期間

令和5年6月中旬～令和7年3月頃（1年10か月）



配水池を空にする必要があり、上記期間は2系配水系統が運用停止となる。（1系配水のための片系運転に変更）

《拡大平面図》



運転方法の変更内容

- ① 連絡管で1系配水管と2系配水管を通水（バルブを全開）
- ② 1系ポンプのみで吉田地区全域へ配水



対策1：既存1系配水ポンプ（4台）の点検整備の実施

片系運転になるため、既存1系配水ポンプ（4台）に負荷がかかることから、令和5年6月までに**全ての既設ポンプの点検整備（オーバーホール）**を実施。

対策2：配水量の検証およびバックアップ対策

現在の最大使用時において、1系が約600m³/h、2系が約300m³/h、合計約900m³/hの配水量であり、**1系配水ポンプのみで対応可能な1,000m³/hを下回る**ことを確認済み。（一日の傾向では17時～21時が配水量のピーク）

また、最大使用時は4台の全数運転となるため、不測の事態に備えて、2系運用停止後、速やかに、**2系配水ポンプを取外し、1系の「予備ポンプ」として転用**する改造工事を行う。

対策3：片系運転に伴う濁水対策

片系運転の初期段階では水位調整が難航することが想定されるため、1系配水ポンプ井（ポンプが水を送る直前の池）の**水位が低下**し、ポンプ井の底面に沈む**微細な汚れが流出する可能性**があるが、令和5年2月に**ダイバー清掃工法による事前の清掃**を実施済み。

また、特に2系配水域で従来と**流向が変化**することによる濁り水が発生する可能性があるが、①連絡管を**ゆっくりと全開**にすることで急激な流向変化を予防、②万が一に備えた**職員による管洗浄の体制づくり**など、事前準備を実施。

対策4：2系運転停止に伴う圧力不足への対応

片系運転に伴う弊害として、**配水管末端での水圧不足**の可能性があるが、現状の水圧把握を行い、**連絡管のバルブ開度で水圧確保**を行う予定。

今後のスケジュール案

実施項目	2月	3月	4月	5月	6月			7月
					上旬	中旬	下旬	
浄水場運転		1系・2系運転					片系運転（1系）	
耐震補強工事							事前調査開始 (本工事開始日は調整中)	
住民周知	広報つばめ				6月号			
	組合HP							
	燕市公式 LINE Twitter							
組合議会				5月臨時会				
燕市議会		3月議会						
燕市関係各課への周知								